

第4次清瀬市地域福祉計画（案）に対して提出された意見等の概要及び意見に対する市の考え方

平成29年12月7日から平成29年12月27日までの間、第4次清瀬市地域福祉計画（案）に対する意見募集を行った結果、1人の方から3件の意見が提出されました。

そこで、これらの意見を適宜要約し、項目ごとに整理したうえで、意見に対する市の考え方を取りまとめましたので、清瀬市パブリックコメント実施要綱第8条及び第9条の規定により次のとおり公表します。

No	意見等の概要	回答
1	<p>PDCA サイクルを取り入れ、1年に1回の評価が示されており高く評価いたします。一方評価する具体的な活動については、第4章で項目は羅列されているものの、具体的な数値目標が挙げられていないと思います。計画に数値目標は必須で数値化しにくいものでも数値化する努力をすべきです。</p>	<p>地域福祉計画は理想的な分野であり、前期までの計画でも数値目標を掲げておらず、清瀬市の地域福祉を推進する計画として、施策の方向性を示すものとしていますので、ご理解をお願いします。評価にあたっては、毎年、具体的な取り組みがどのように実施されたかというところと、実施したことによってどのような成果や課題があるかを整理して、次年度の施策に生かしていきたいと考えています。</p>
2	<p>第5章の資料には第4章で掲げた活動（関連する活動）で数値目標に挙げられるものもあるかと思います。例えば、生活困窮者学習支援受講者数、自主防災組織数、災害ボランティア登録者数、市民活動センター登録団体数、ボランティアセンター登録者数、サロン活動数・実施回数等です。さらに、子ども食堂の実施数・参加数・ボランティア数、空き家の活用数など数値目標に挙げていただきたいと思います。例えば空き家の活用数などは計画中に1つできるか否かの大変な活動だと思いますが、2018年空き家状況の調査、2019年空き家2件と交渉、2020年空き家4件と交渉、2021年空き家1件利用開始、というように数値目標化できると思います。</p>	<p>第5章は資料編として、清瀬市の地域福祉に関する統計データと調査結果を現状として示しています。子ども食堂については、市の事業等としては実施していませんので、近隣各市の状況、東京都や国の動向を考慮していきます。空き家等の活用については、法的な整備や管理体制など、今後の大きな行政課題としてありますことから、現時点では、福祉分野の数値目標化は難しい状況です。引き続き、サロン（集いの場）の受け皿づくりなど、社会資源の活用という観点から検討していきたいと考えています。</p>
3	<p>計画策定体制・策定に向けた取り組みが詳細に示されていたことは評価いたします。ただ委員会委員と役職を伴う連絡メンバーの名前は掲載されていますが、このメンバーだけでこの計画案を作成したのでしょうか。そうであればそれで結構なのですが、この下で案の作成に直接かかわった実務部隊があるのであればその職員の名前も掲載してほしいと思います。</p>	<p>策定体制では、地域福祉計画策定委員会設置要綱により、策定委員会による検討と庁内連絡会による情報共有と意見交換等により取り組みを行いました。ご意見については、今後の参考にさせていただきます。ありがとうございました。</p>